

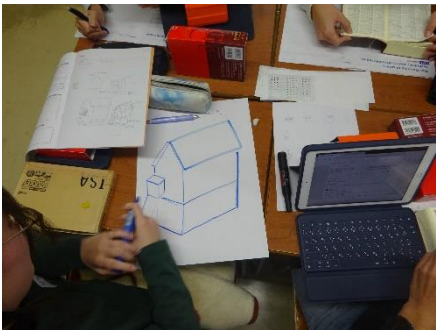



令和6年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	サイエンスイマージョン		
期 日	令和7年1月10日（金）～令和7年1月27日（月）		
会 場	長岡高校		
対 象	普通科&理数科 1年生		
目 的	<p>科学技術分野の第一線で活躍をしている海外出身の研究者を講師として招き、研究報告や体験談、質疑応答を通して生徒の関心意欲を育てるとともに、科学を土台にした協働・思考活動を英語で行うことで、国際的コミュニケーション能力の育成を図る。</p>		
内 容	<p>講座①（1/10） 海外での研究活動経験のある日本人講師と各クラスをZOOMでつなぎ、英語を使うことの意義と英語による発表で求められることなどについて講義を行った。</p> <p>講座② 日本の大学院で活動している外国人研究者2名（筑波大学 from レバノン、東京大学 from ミャンマー）を講師として招き、各クラス3時間を使い、班ごとに「理想の家」の構想を練り、英語でポスター発表を行った。</p> <p>講座③ 講座②での講師からのフィードバックをもとに、発表を練り直し、再度英語で発表を行い動画撮影をした。生徒の投票により選ばれた2班の動画を講師に送り、再評価してもらった。</p>		
			
	講座② 講師によるレクチャー（英語）	講座② 班別ポスター発表準備	
			
	講座② 班別ポスター発表準備	講座② 班別ポスター発表（英語）	

アンケート評価	<p>●事前アンケート</p> <p>「とても楽しみである」 21.7%</p> <p>「少し楽しみである」 58.5%</p> <p>「少し面倒だ」 18.9%</p> <p>[プログラムへの期待]</p> <p>「英語を聞く力が向上する」 71.1%</p> <p>「英語を話す力が向上する」 85.2%</p>	<p>●事後アンケート</p> <p>「とてもよかった」 62.3%</p> <p>「どちらかと言えばよかった」 36.7%</p> <p><u>英語の力について</u></p> <p>「英語を聞く力が向上した」 76.7%</p> <p>「英語を話す力が向上した」 69.2%</p> <p><u>講座③における発表（2回目）について</u></p> <p>「とても良くなった」 43.9%</p> <p>「どちらかと言えば良くなった」 48.5%</p> <p>[その主な理由]</p> <p>「内容を深めることができたから」</p> <p>「英語を話す練習ができたから」</p> <p>「講師のフィードバックを活かしたから」</p> <p>「人前での発表に慣れたから」</p>
感想など	<p>【講座③後の振り返りシートより】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 笑顔で堂々と発表できたと思う。原稿やポスターを考えるときも、みんなで1つ1つ話し合いながら私たちにとってベストなものが出てきたと思います！ ● 面白いアイデアを考えることができた。例を出して説明したり、問いかけを使ったりして、よりわかりやすい発表になるよう工夫した。 ● 大きな声で言えた。原稿を見ずに聞いている人を見て言えた。アイデアやポスターも工夫できた。チームで協力して、楽しく話せた。 ● 前回よりもジェスチャーを工夫してわかりやすくてよかった。緊張が発表に出てしまったと感じた。 ● 大きな声で言うことができた。正面を向いて何も見ずに言えた。 ● 班のみんなで楽しみながらプレゼンできたし、笑顔も意識できてよかった。 ● 声をそろえるなど、チームワークの良さを前回よりも出せた。内容をもっと深められたらよかったと思う。 ● ポスターに合わせてそれぞれの機能をわかりやすく紹介できていたと思う。ポスターを指さすだけでなく、もっとジェスチャーが取り入れられるともっとよくなったと思う。 ● 前回の発表よりもジャスチャーを増やしたり、堂々と発表することができてよかったです。また、ジャスチャーと話している内容が一致するように話すスピードを変えるなど、工夫することができました。 	